

桜小おやじの会ニュース^o VOL. 10 (2008.11.19)

発行：桜小おやじの会（会長 福田）

電話：957-5033

事務局：桜小学校 杉原教務主任

桜小環境発表会

10月6日(月)に桜小学校環境発表会が行われた。これは、桜小学校とPTA、おやじ会が主催、三郷中央ロータリークラブ後援により、ペットボトルのキャップを集め、その収益によってポリオ（小児麻痺）のワクチンをアフリカなど未だポリオウイルスに感染し、子供達が死亡する地域に援助しようとする活動である。

活動自体は全世界のロータリークラブが「ポリオ撲滅」をスローガンに掲げて実施しているものであるが、その趣旨に賛同し、桜小学校でも全校を挙げて推進している活動である。

日本では絶滅となったポリオであるが、世界を見回すと可愛い子供達がポリオにより死亡している地域がまだまだあるのが実状である。

恥ずかしながら、会長である私も、今回の発表会に参加してその実状をはじめて知ったような次第で、今までは自宅でペットボトルのキャップを家内が集めている（というより、何かキャップが沢山置いてあるな、と言う感覚でしかなかった）のを横目で見ていただけである。ただ、小生の居住するマンションのゴミ収集所の前に桜小学校のペットボトルキャップ収集用の袋が設置されているのは知っており、学校で集めているということはうすうすとは知っていた。

今回の話を聞いて、これからはもっと積極的にキャップを取っておくようにしようと思った次第である。各家庭におかれても、是非活動に参加して貰えればと思う次第である。

なお、この活動のアピール看板が、桜小学校のフェンス（駅から歩いてきて横断歩道を渡った正面）に設置されているので、一度ご覧いただきたいと思う。

また、発表会では桜小の6年生の児童による「水環境に関する発表」も行われ、発表自体も寸劇調であったことから、大変興味深くまた大変面白く見入ってしまった。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・切り取り線

子供達の発表は、埼玉県の小学校の環境発表において、8校に選ばれたものであるということを知り、発表を見て、なるほどこれなら分かりやすいし選ばれるのも当然だな、と思った次第である。

普段、何気なくちょっとした油程度は排水と一緒に流してしまっているが、スプーン1杯のマヨネーズを川が浄化するのに、2リットルのペットボトル10本以上の水が必要と聞いて、ちょっとびっくりしたことも事実である。

子供達が一瞬懸命調べた様子が目に浮かんでくるような発表であった。

アルミ缶リサイクル本格始動

環境発表会に併せて、おやじの会が行っているアルミ缶の回収についても話を若干させていただいた。

アルミ缶リサイクルの重要性が子供達にどこまで伝わったかは？であるが、少なくともちょっとした校舎の補修程度はおやじの会の原資によって行えるようにし、その分の予算を直接子供達のために使ってもらいたいという気持ちであることを説明させていただいた。

ニュースの前号でもお知らせしたが、毎週金曜日に桜小玄関（団地側）にアルミ缶回収ケースを設置しているので、1つでも2つでも良いので、是非とも子供さん達に持参させていただきたいと思う。

父母の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

図書室大変身

ここでちょっと自慢をさせていただきます。おやじの会が図書室のリニューアルを行ったことは、以前のニュースでも報告しましたが、学校公開日に併せて入り口看板の取り付け、古い机のリサイクルによる椅子の製作等を行ったこともあり、学校公開日にご覧になった父兄もおられるとは思いますが、見違えるほど素晴らしい図書室になったので、機会があれば是非ご覧いただきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

会員応募 ・ ご意見 （どちらかに丸を付けてください。ご意見は無記名でも結構です。）

児童名 第 学年 組

おやじ名 住所 電話番号

ご意見